

### 事例3（1人乗り組み、巻き込まれ）

#### 底びき網漁の操業中、船長がネットローラーに網と共に巻き込まれて死亡

概要：本船は、船長（74歳）が1人で乗り組み、小型底びき網漁のため、平成26年3月22日13時00分ごろ鳥取港を出港した。

23日朝、いつもの時刻になっても帰らないので心配した船長の家族が、知人に相談して僚船が捜索を開始したところ、僚船の船長がネットローラーに網と共に巻き込まれていた船長を発見し、僚船の船長から連絡を受けた他の僚船が06時57分ごろ118番通報した。

#### 本船（小型底びき網漁船）

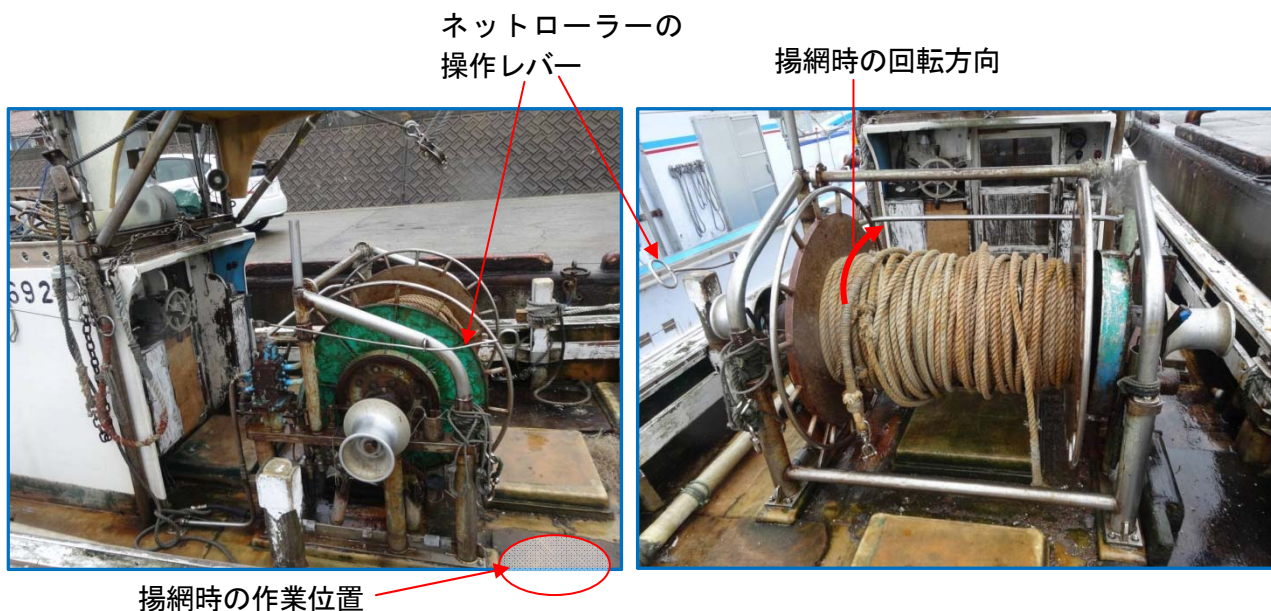
総トン数：4.84トン  
L×B×D：11.56m×2.31m×0.81m  
進水年月：昭和56年5月

気象：晴れ、東南東の風、風力2  
視界良好  
海象：波高約1.0m

僚船の船長が、本船に移乗したとき、機関はアイドリング状態で、トローリング装置により、極微速前進の状態となっており、ネットローラーの操作レバーが巻き揚げ側に操作されていた。

本船は、揚網の際、網口両端に網口を縦方向に広げる「手木」と網と一緒にネットローラーに巻き取ることから、巻取り中に船長が、巻取りを補助して「手木」に手を添えることがあった。

船長は、病院に搬送されたが死亡が確認され、死因は窒息死と推定され、死亡推定時刻は、23日04時ごろと検案された。



#### 再発防止に向けて（事故防止策）

- ・揚網中は、慎重に作業を行うことを心掛け、網に手を出さないこと。

本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しております。（平成26（2014）年7月25日公表）  
[http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2014/MA2014-7-27\\_2014hs0058.pdf](http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2014/MA2014-7-27_2014hs0058.pdf)